

# 世界史

I 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問6)に答えなさい。

ヨーロッパの古代文明は、地中海に接する地域でうまれた。オリエントの文明の影響を受け、地中海東部のエーゲ海域で発展した青銅器文明は(A)エーゲ文明と総称される。この文明は紀元前1200年頃に崩壊し、地中海東部は混乱のなかで初期鉄器時代に移行した。そして、前8世紀頃から、ギリシア本土に都市国家である(B)ポリスが数多く成立した。

ポリスの市民には貴族と平民の区別があり、当初は少数の貴族が政治を独占した。また、自由人である市民に隷属する奴隷が存在した。やがて、交易活動などによって富裕となった平民が軍隊の主力を担い、参政権を求めて貴族と対立するようになった。

平民が参政権を獲得していき、民主政が典型的な形で形成されたポリスは、イオニア系の人々が建設したアテネである。前6世紀初頭に **1** が改革をおこない、財産額の多少に応じて市民の参政権を定めた。その後、非合法に政権を獲得した(C)ペイストラトスによる<sup>せんしゆ</sup>僭主政治をへて、前508年には、クレステネスが民主政の制度的な基礎を確立した。

前5世紀に入ると、小アジアのポリスが(D)アケメネス朝ペルシアの支配に対して反乱をおこし、これをきっかけとしてペルシア戦争が勃発した。前480年の **2** で、アテネを中心とするギリシア連合軍がペルシア軍を退け、ギリシア諸ポリスは政治的独立を守った。

ペルシア戦争後、 **3** の指導のもと(E)アテネの民主政は完成し、その繁栄は頂点に達したとされる。エーゲ海周辺のポリスはペルシアの再侵攻に備えて **4** 同盟を結成し、盟主アテネは経済力と軍事力によってギリシア世界の覇権を握った。また、アテネ国内においては、ペルシア戦争で **5** として活躍した無産市民の発言力が高まった。その結果、市民であれば財産の多少にかかわらず平等に参政権をもつことが実現した。

問1 空欄 **1** ～ **5** に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- |          |             |            |
|----------|-------------|------------|
| <b>1</b> | ① ソロン       | ② ドラコン     |
|          | ③ ホルテンシウス   | ④ リュクルゴス   |
| <b>2</b> | ① アクティウムの海戦 | ② イッソスの戦い  |
|          | ③ サラミスの海戦   | ④ マラトンの戦い  |
| <b>3</b> | ① ソフォクレス    | ② テミストクレス  |
|          | ③ ペリクレス     | ④ クラッス     |
| <b>4</b> | ① コリントス     | ② デロス      |
|          | ③ ヘラス       | ④ ペロポネソス   |
| <b>5</b> | ① ガレオン船の漕ぎ手 | ② 三段櫂船の漕ぎ手 |
|          | ③ 長弓兵       | ④ 重装歩兵     |

問2 下線部(A)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 6

- ① クレタ文明は、城壁のない宮殿などから、平和的な様子がうかがえる。
- ② ミケーネ文明の線文字Aは、解読されている。
- ③ クレタ文明は、巨石をもちいた城塞王宮などから、戦闘的な様子がうかがえる。
- ④ ミケーネ文明の線文字Bは、解読されていない。

問3 下線部(B)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 7

- ① 中心となったアゴラは、砦であり、神殿のある神聖な場でもあった。
- ② 地中海や黒海の沿岸には、ポリスを母市とする植民市が建設された。
- ③ 市場や集会場となるアクロポリスが設けられた。
- ④ プラトンが「人間はポリ斯的動物である」と定義したように、文明人の生活の基盤とされた。

問4 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① 中小農民の保護などによって、平民層の力が高まった。
- ② 血縁にもとづく旧来の4部族制を、地縁を基礎とする10部族制にあらためた。
- ③ 自分以外の僭主の出現を防ぐため、陶片追放(オストラキスマス)の制度をつくった。
- ④ この時から、借財を負った市民を奴隷として売ることが禁止された。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- ① マケドニアとギリシアの連合軍によって滅ぼされた。
- ② イスラーム勢力とギリシアの連合軍によって滅ぼされた。
- ③ ローマとギリシアの連合軍によって滅ぼされた。
- ④ パルティアとギリシアの連合軍によって滅ぼされた。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① 両親ともアテネの出身である、18才以上の男性が参政権をもった。
- ② 奴隷・在留外国人・女性には参政権がなかった。
- ③ 民会を最高決議機関とする、直接民主政であった。
- ④ 将軍など一部の役職を除き、公職者は選挙で決定された。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問6)に答えなさい。

中国では後漢末期に各地で軍事勢力が争うなか、曹操・孫権・**11**の勢力が有力となった。220年に曹操の子の曹丕(文帝)が魏を建国すると、孫権・**11**もそれぞれ呉と蜀を建国して争った。この時代を、(A)三国時代という。魏は、農民らを軍事と開拓にあたらせる屯田制を実施する一方、(B)官吏登用制度の九品中正(九品官人法)をはじめ、国力を充実させた。

その後、魏の有力者である**12**が帝位を奪って晋(西晋)を建国し、280年に中国を統一した。しかし、帝位継承をめぐる反乱を契機に五胡が華北に侵入し、西晋は滅亡した。その後の華北は、五胡が王朝を相次いで開く(C)五胡十六国時代となった。一方、晋の皇帝の一族は、江南の建康を都として王朝を再興した。これを東晋という。東晋では、華北から逃れてきた豪族が開発を進めて官位を世襲的に独占する門閥貴族となり、土着の豪族らと対立し、皇帝権力は安定しなかった。

江南では、420年に東晋が減じ、6世紀末まで宋・斉・梁・陳が興亡をくりかえした。これらの漢人による4王朝を(D)南朝という。華北では、5世紀前半に鮮卑の北魏が統一を果たした。この王朝の第6代皇帝の**13**は、5世紀末に都をそれまでの平城から**14**に移した。また、**13**は、大土地所有の抑制を目的とする農地の支給制度である**15**を実施し、三長制をさだめて中央集権化をはかった。しかし、6世紀に北魏は東魏・西魏に分裂し、その後、北斉と北周が華北の王朝としてつづいた。これらの北魏以後の5王朝を(E)北朝という。

問1 空欄**11**～**15**に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- |           |       |          |
|-----------|-------|----------|
| <b>11</b> | ① 劉裕  | ② 劉邦     |
|           | ③ 劉備  | ④ 劉秀     |
| <b>12</b> | ① 司馬睿 | ② 司馬炎    |
|           | ③ 司馬光 | ④ 司馬遷    |
| <b>13</b> | ① 建文帝 | ② 洪武帝    |
|           | ③ 孝文帝 | ④ 太武帝    |
| <b>14</b> | ① 開封  | ② 杭州     |
|           | ③ 長安  | ④ 洛陽     |
| <b>15</b> | ① 均田制 | ② 限田策    |
|           | ③ 青苗法 | ④ 占田・課田法 |

問2 下線部(A)に関して、国名と支配地の組み合わせとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **16**

- ① 魏：江南 呉：四川 蜀：華北      ② 魏：華北 呉：四川 蜀：江南  
 ③ 魏：江南 呉：華北 蜀：四川      ④ 魏：華北 呉：江南 蜀：四川

問3 下線部(B)に関して、中国では官吏登用制度として、前漢の武帝期における郷挙里選、三国時代の魏における九品中正をへて、隋において科挙が実施された。それぞれの登用制度と下記枠線内の内容との組み合わせとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **17**

- あ. 中央から派遣された担当官吏の評定にもとづいて、地方の人材を官吏に任命する。  
 い. 郡や県の長官が、地方での評判にもとづいて官吏に推薦する。  
 う. 学科試験の成績によって選抜されて任官する。

- ① 郷挙里選：あ 九品中正：い 科挙：う  
 ② 郷挙里選：あ 九品中正：う 科挙：い  
 ③ 郷挙里選：い 九品中正：あ 科挙：う  
 ④ 郷挙里選：う 九品中正：あ 科挙：い

問4 下線部(C)の時代の出来事に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **18**

- ① 義浄がインドを訪れてナーランダー僧院で学び、帰国後に仏典を漢訳した。  
 ② ネストリウス派キリスト教(景教)が伝来し、「大秦景教流行中国碑」がたてられた。  
 ③ 西域出身の仏図澄は、多くの仏寺を建立し、漢人僧を育成した。  
 ④ 孔穎達が『五経正義』を編さんし、五経の解釈が統一された。

問5 下線部(D)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **19**

- ① 南朝では、雲崗や竜門で石窟寺院が造営された。  
 ② 寇謙之は、南朝の皇帝の信任を受け、道教を大成させた。  
 ③ 邪馬台国女王の卑弥呼は、南朝の皇帝に使いを送り金印を授与された。  
 ④ 倭国の王は、南朝の皇帝にたびたび朝貢をおこなった。

問6 下線部(E)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 20

- ① 東魏で書の芸術性を確立した顔真卿は、のちに「書聖」と称された。
- ② 西魏の太子である昭明太子が、『文選』を編さんした。
- ③ 北魏では、漢化政策を実施して制度や風俗などをあらためた。
- ④ 隋を建国した煬帝は、北周の宣帝の外戚であった。

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問6)に答えなさい。

4世紀から6世紀のヨーロッパは民族大移動の時代であった。4世紀後半に **21** がドン川をこえて西に進み、東ゴート人の大半を征服し、さらに西ゴート人を圧迫した。そこで西ゴート人は375年に南下をはじめ、翌年にはドナウ川をわたってローマ帝国内に移住した。これをきっかけとして約200年におよぶゲルマン人の大移動がはじまった。西ゴート人は410年にローマを略奪したのち、ガリア西南部とイベリア半島に移動して西ゴート王国を建国した。

5世紀前半には **22** がパンノニアを中心に大帝国をたてた。しかし451年のカタラヌムの戦いで西ローマ帝国とゲルマン人の連合軍に敗れ、その後大帝国は崩壊した。この混乱のなか、西ローマ帝国も476年に滅び、東ゴート人はイタリア半島に移動して、東ゴート王国を建国した。568年に北イタリアにランゴバルド王国がたてられたのを最後に、民族大移動の波は一応の終息をみた。

ゲルマン諸国家の多くは短命だったが、フランク王国は着実に領土を広げ、西ヨーロッパ世界形成に大きな役割を果たした。8世紀には **23** がトゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃退し、西方キリスト教世界を外部勢力からまもった。フランク王国と共同して西ヨーロッパ世界の形成に貢献したのがローマ＝カトリック教会である。五本山のなかでも有力だった<sup>(A)</sup>ローマ教会は次第にフランク王国と結びつきを深め、800年に教皇 **24** は「西ローマ帝国」の復活を宣言した。その後、キリスト教世界はローマ＝カトリック教会と、**25** を首長とするギリシア正教会の二つに分裂した。

民族大移動後の混乱期には、<sup>(B)</sup>封建的主従関係と<sup>(C)</sup>荘園という西ヨーロッパ中世世界に特有の二つのしくみの上に成り立つ封建社会がうまれた。封建社会では王権が貧弱で統一的権力になれなかったのに対し、<sup>(D)</sup>ローマ＝カトリック教会は西ヨーロッパ世界全体に普遍的な権威をおよぼした。やがて世俗権力が教会に介入するようになると、これに対して10世紀以降に<sup>(E)</sup>改革の運動がおこった。

問1 空欄 **21** ～ **25** に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- |           |            |               |
|-----------|------------|---------------|
| <b>21</b> | ① ブルグンド人   | ② ケルト人        |
|           | ③ ヴァンダル人   | ④ フン人         |
| <b>22</b> | ① アルフレッド大王 | ② オドアケル       |
|           | ③ テオドリック大王 | ④ アッティラ王      |
| <b>23</b> | ① ユーグ＝カペー  | ② ピピン         |
|           | ③ カール＝マルテル | ④ クローヴィス      |
| <b>24</b> | ① ウルバヌス2世  | ② インノケンティウス3世 |
|           | ③ レオ3世     | ④ ルートヴィヒ2世    |

25

- ① ハンガリー国王                      ② ビザンツ皇帝  
③ 東フランク国王                      ④ 神聖ローマ皇帝

問2 下線部(A)の流れの中で生じた出来事に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- ① ローマ教会は聖像禁止令を発布した。  
② ローマ教会はゲルマン人への布教を熱心におこなった。  
③ ローマ教会はカール大帝にローマ皇帝の帝冠を与えた。  
④ ローマ教皇は教皇領を寄進された。

問3 下線部(B)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 27

- ① ローマの恩貸地制度とゲルマンの従士制に起源をもつ。  
② 多くの騎士を家臣とする大諸侯の一人が国王となり中央集権的支配をおこなった。  
③ 家臣は一人の主君のみに忠誠を誓わなければならなかった。  
④ 主君は家臣に対して一方的に契約をまもる義務を負わせた。

問4 下線部(C)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 28

- ① 中世の荘園では三圃制が広くおこなわれていた。  
② 荘園では、農奴は賦役と貢納の義務を領主に負った。  
③ 荘園には手工業者も住み、貨幣経済が支配的であった。  
④ 領主は国王の役人の荘園への立ち入りや課税を拒むことができた。

問5 下線部(D)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 29

- ① 教皇を頂点とする聖職者の序列を定めた階層制組織がつくられた。  
② 大司教や修道院長などは荘園をもつことを禁じられた。  
③ 教会は農民から十分の一税を取り立てた。  
④ 教会は教会法にもとづく独自の裁判権をもっていた。

問6 下線部(E)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 30

- ① 改革運動はフランス中東部のクリュニー修道院を中心におこった。
- ② グレゴリウス7世は聖職者を任命する権利を諸侯から皇帝の手に移した。
- ③ 皇帝ハインリヒ4世は教皇と協力して改革を推し進めた。
- ④ コンスタンツ公会議により叙任権闘争は終結した。

Ⅳ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問6)に答えなさい。

オスマン帝国の基礎は13世紀末、トルコ人によってアナトリア西北部にきずかれた。14世紀後半にはバヤジット1世がバルカン半島に侵攻し、ヨーロッパ諸国の連合軍を破ったが、アナトリアに攻め入ってきた<sup>(A)</sup>ティムールに **31** で大敗し、捕らえられた。その後、オスマン帝国の勢力は一時弱まったが、やがて国力を回復させたメフメト2世は1453年に<sup>(B)</sup>コンスタンティノープルを征服し、**32** を滅ぼした。1517年にはセリム1世が **33** を滅ぼしてシリア・エジプトを支配下におさめ、メッカ・メディナの保護権を手に入れたため、オスマン帝国はスンナ派イスラーム教の中心的存在になった。

**34** の時代には帝国は最盛期を迎え、<sup>(C)</sup>サファヴィー朝から南イラクを奪っただけでなく、ハンガリーを征服し、1529年にウィーンを包囲してヨーロッパ諸国に脅威を与えた。また、1538年にはスペイン・ヴェネツィアの連合艦隊を **35** で破り、地中海のほぼ全域を制圧した。次のセリム2世は **34** の時代の慣習にもとづき、フランス商人に対して<sup>(D)</sup>領内での居住や通商の自由などの通商特権を公認した。この特権はやがてイギリスやオランダの商人にも与えられ、西ヨーロッパとの交易が盛んになった。

<sup>(E)</sup>オスマン帝国の政治はイスラーム法にもとづく専制君主制であった。しかし、キリスト教徒やユダヤ教徒などの諸宗教の共同体には納税を条件に慣習と自治を認め、イスラーム教徒との共存をはかった。

問1 空欄 **31** ～ **35** に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- |           |               |              |
|-----------|---------------|--------------|
| <b>31</b> | ① ワールシュタットの戦い | ② アンカラの戦い    |
|           | ③ ニコポリスの戦い    | ④ タラス河畔の戦い   |
| <b>32</b> | ① ビザンツ帝国      | ② ムガル帝国      |
|           | ③ ナポリ王国       | ④ ポーランド王国    |
| <b>33</b> | ① ファーティマ朝     | ② アイユーブ朝     |
|           | ③ デリー＝スルタン朝   | ④ マムルーク朝     |
| <b>34</b> | ① アクバル        | ② スレイマン1世    |
|           | ③ アブデュルメジト1世  | ④ バーブル       |
| <b>35</b> | ① アルマダの海戦     | ② トラファルガーの海戦 |
|           | ③ プレヴェザの海戦    | ④ レパントの海戦    |

問2 下線部(A)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **36**

- ① ティムールはキプチャク＝ハン国出身である。
- ② ティムールは首都サマルカンドを中心に強大な帝国をつくった。
- ③ ティムールは元を討伐しようと東方遠征をはじめたが、途中で病死した。
- ④ ティムールの死後、ティムール朝はトルコ系遊牧民キルギスに滅ぼされた。

問3 下線部(B)に関して、征服後に一般化したこの都市の呼称として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **37**

- ① エディルネ
- ② ダマスカス
- ③ イスタンブル
- ④ ビザンティウム

問4 下線部(C)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **38**

- ① サファヴィー朝はシーア派を国教として定めた。
- ② サファヴィー朝はアウラングゼーブの治世に最盛期を迎えた。
- ③ サファヴィー朝の首都バグダードには壮大なモスクや学院が建設された。
- ④ サファヴィー朝はイランの伝統的な王の称号であるカリフを採用した。

問5 下線部(D)の名称として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **39**

- ① ミット
- ② ワクフ
- ③ デヴシルメ
- ④ カピチュレーション

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **40**

- ① 発達した官僚制度を構築し、直轄領には州・県・郡による行政区分を導入するなど、スルタンによる君主制と中央集権を強化した。
- ② 支配階層の組織化をはかり、維持すべき騎兵・騎馬数とそれに応じた給与によって等級づけ、官位を与えるマンサブダル制を定めた。
- ③ 騎士には軍事奉仕の見返りとして、ティムールと呼ばれる封土を配分してその土地の徴税権を与えた。
- ④ バルカン半島征服後、キリスト教徒の子弟を強制的に集めたイエニチェリというスルタン直属の常備歩兵軍を編制した。